



横浜市立都田西小学校

令和3年11月30日

学校だより 12月号



学び合い 認め合い
笑顔輝く 都田西っ子

【TEL 045-933-7652 FAX 045-937-0964】

一人ひとりが大切にされる学校に

校長 三橋 淳子

令和3年も残すところあと1か月となりました。感染症も現在は落ち着いているように見えますが、報道では変異株の情報が出始めました。子ども達はマスクを着用し、手を洗うことなどの約束を守りながら毎日の学校生活を送っており、学校としては引き続きガイドラインに沿っての指導を徹底して参ります。各教科等の学習や校外学習等につきましても状況をみながら判断していきたいと考えています。

各ご家庭にはリーバーでの健康観察のご連絡を、休日を含む毎日についてお願いしておりますが、発熱や倦怠感、のどの痛み等の風邪症状がある場合には登校を見合わせ、受診をご検討いただくとともに、お配りしております検査キットもご活用ください。

さて、12月4日から10日の7日間は、人権週間です。世界人権宣言には、「人権」とは誰もがもっている権利であり、すべての人には自由に人間らしく生きる権利があること、自分の権利や自由を主張して何かを行うときには、ほかの人の権利や自由も大切なものとして守ることを忘れてはいけないと記されています。また、法務省の今年度の人権週間のポスターにも、『「誰か」のことじゃない』という言葉が示されています。「誰か」のことではなく「自分事」として考えてほしいと、私達一人ひとりに送られているメッセージだと思います。

都田西小学校では、今年度も「誰もが」「安心して」「豊かに」生活できる学校となるよう日々の教育活動を進めており、人権週間には、いじめや差別をしない心を育てることをめざす授業を各学級で行うとともに、今後も、自他ともにかけがえのない存在であるという意識を高める指導を重ねていきたいと考えています。ぜひご家庭でも、人権、自分を大切にすること、相手の気持ちに思いを馳せること、いじめについて、差別について、お子さんと話す時間をもつていただければと思います。

先日、ある保護者の方から、お手紙をいただきました。お子さんが下校中に体調が悪くなり座り込んでいたところ、高学年のお子さんが学校に知らせたり寄り添ったりしてくれて嬉しかったというものです。場面を見逃さずにしっかり考えて対応したその子ども達の行動を、嬉しく、そして誇らしく思うとともに、保護者の方がこのことを私にお伝えくださったことをありがたく思いながら、教職員や子ども達に伝えました。

新型コロナウイルス感染症が世界を覆いつくして以来、私たちがこれまでに当たり前に行ってきた交流の形を変えざるをえない状況が長い期間にわたって続いています。日々の子どもの様子を見てみると、相手とのコミュニケーションをどのように図っていくかなど、これまでの教育活動の中で身に付けてきていた力が育ちにくくなっているのではないかと感じる場面があります。保護者の皆様とも懇談会や授業参観等で実際にお顔を見てお話する機会が減り、保護者の方同士のつながりも作りにくくなっているのではないかと思います。

また、子ども達の生活の中に携帯電話やスマートフォンが身近なものとしてあり、SNSの扱い等の情報モラルの理解と対応も必須となっています。学校でも指導を重ねておりますが、子ども達の利用状況に驚かされるとともにトラブルの対応に入る場面も少なからず出てきています。保護者の皆様にも、今一度各ご家庭での確認をお願いいたします。

教育活動を進めて行くにあたり、何を大切に考え進めて行くか、日々判断を重ねていますが、併せて、今後の教育活動をどのように進めていくか、今年度の振り返りをしながら来年度につなげていきたいと思っています。そして今後も、一人ひとりのお子さんが安心して安全に過ごし、確かな学びを通して成長していくことができるよう、丁寧に教育活動を進めて参ります。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を頂ければ幸いです。ご心配なことがございましたら、どうぞ、担任あるいは学校の職員に遠慮なくお声掛けください。

祝 令和3年度「優良PTA文部科学大臣表彰」

これまでの本校のPTAの活動状況が評価され、都田西小学校PTAが標記の表彰を受けました。PTA本部の皆様をはじめとする、本校のPTA活動にご尽力いただきました全ての皆様に贈られたものだと思います。都田西小学校の子ども達を大切に思いながらお取り組みいただき、その思いをつなげてこられた皆様に、心より感謝申し上げます。